

研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

乳癌における血中エンドカン測定によるリキッドバイオプシーとしての可能性の検討のための病理組織標本における ESM1 発現の調査

1. 研究の対象および研究対象期間

2020年11月10日から2021年4月23日に昭和大学病院乳癌外科で腫瘍摘出の手術を行った患者さんのうち、血中エンドカン測定の臨床研究に参加いただいた方

2. 研究目的・方法

【研究目的】

乳がんは女性のがんによる死因の上位をしめており、現在では9人に一人の女性が一生のうち乳がんにかかると言われております。一般的に、がんの早期発見や再発を予測することは、患者さんの生存率やクオリティーオブライフ(生活の質)の向上につながると考えられています。私たちは、乳がん患者さんから採血した血液に含まれるエンドカンという物質を測定することで、がんの再発予後を予測することができるか研究を行っています。本研究では、血液中のエンドカン濃度と原発腫瘍におけるエンドカンのタンパク質発現量に相関性があるか検討します。

【方法】

手術時に摘出した乳がん患者さんの腫瘍片を用いて免疫組織染色にて ESM1 の発現を見ます。ESM1 は、乳癌組織エンドカンのタンパク質の発現量を調べます。ESM1 はエンドカンの発現に関与しています。その発現量と血液中のエンドカン濃度の関係性を明らかにします。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年7月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：病理検体(病理組織ガラス標本、病理組織ホルマリン固定パラフィン抱埋ブロック等)

情報：病理診断に付随する資料(病理検査申告書、病理検査報告書、カルテ情報等)

(新たな試料の提供をお願いすることはありません)

5．外部への試料・情報の提供

本研究で取得した試料・診療情報は、研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。昭和大学病院臨床病理診断科診療科長およびその代理となる医師が試料・情報の提供担当者を担います。

昭和大学医学部臨床病理診断学講座研究室にて、病理標本の作製(HE染色、免疫染色標本)を行います。作製された免疫染色標本は、病理医による染色結果の見解とともに共同研究機関である星薬科大学にて解析されます。

6．研究組織

研究機関

昭和大学
星薬科大学

研究者

研究代表者：昭和大学外科学講座乳腺外科学部門 垂野香苗

【昭和大学】

研究責任者：昭和大学外科学講座乳腺外科学部門 垂野香苗

研究分担者：昭和大学外科学講座乳腺外科学部門 永田彩

研究協力者：昭和大学医学部 臨床病理診断学講座 矢持叔子

【星薬科大学】

研究責任者：疾患解析創薬学研究室 加藤良規

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学乳腺外科 氏名：垂野 香苗

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号： 03-3784-8727